

低学年向けキャリア支援



「〇〇という会社に入りたいのですが、1・2年生のうちからできることはありますか?」「将来は〇〇になりたいのですが、どうすればなれますか?」
1・2年生の学生から就職相談を受ける際、このような質問を受けることがあります。大学の入学試験であれば、試験科目について学習していけば、志望校の合格に近づくという明確な道筋がありま

すが、就職活動では「これをやっておけばこの会社に入れる」というものはありません。
それでは、1・2年生のうちから就職活動を意識してできることはないのでしょうか?
——「学生時代に力を入れたこととは何ですか?」
——「学生時代に力を入れたこと

「学生時代に力を入れたこととは何ですか?」

は何ですか?」
この質問は、就職活動の面接、あるいはエントリーシート(就職活動で提出する志望理由などを記載する、企業から指定される書類)でこの企業・団体を受けても質問される事項です。ここで企業・団体の面接担当者が確認したいのは、何をやってきたかではありません。大学生という、人生の中でも比較的自由に時間を使える4年間で、なぜそのことに時間を費やし、熱意を傾けたのか?そこでのような困難・課題があったのか?そこでどう自ら考え、行動したのか?その行動・プロセスを確認したいのです。

多くの就職活動生から人気があり、採用数が少ない企業に採用される学生の特徴として、心の底から熱意を持って取り組んだ経験を持ち合わせているという共通項があります。その中には、多くの大学生が経験する、ゼミナールや研究活動、サークル、アルバイトと

策など、さまざまな支援行事を行っています。それらは料理に例えると調理の仕方のレクチャーにすぎません。誰もが喰る美味しい料理に仕上げるためには、調理方法だけでなく素材も重要です。そして、就職活動が直前に迫った中で慌てて素材を調達してくるのは難しい。そこで、1・2年生のうち、自分が興味・関心があることに全力を傾けてください。そこで悩み・苦しむことが、良質な素材を見つけることにつながるのです。

明治大学の低学年からのキャリア支援

前記のことを踏まえて、就職キャリア支援センターでは、「チャレンジ機会の提供」に力を入れており、学内外で、学生が現在の自分にとって少し難しい問題に挑戦できる機会への情報提供や、実際の機会提供を行っています。

あさりちゃんの強み

③コンテンツの高さ

- 34年間連載していた**大人気作品**
- 「二人組による1コミックシリーズ最多発行巻数(女性作家)」**ギネス記録認定**
- 「あさりちゃん×KIRIMIちゃん」**コラボ漫画**
→作品としてあらゆるテーマに対応できる
- 近年の若者の**漫画ブーム**
→YouTubeの漫画広告・SNSの漫画投稿が急増
- 漫画は魅力を上手く伝える広告に適している**
登場人物の感情を認知・理解することができ広告に対する評価が高くなると、広告で訴求されている製品・サービスに

↑平成30年7月「総務省情報通信政策研究所」『平成29年情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書』より



例えば、2020年は新型コロナウイルス感染症拡大という中でも取り組める、オンライン形式のPBL(課題解決型学習)プログラムを実施しました。(株)小学館協力のもと、「あさりちゃんを若者世代にPRせよ」というテーマを基に、70名もの学生が学部・学年

を超えたチームを結成し、現役で活躍する編集者からのフィードバックを受けながら、企画提案を行いました。コロナ禍という状況においても横のつながりを生み、この経験を通して、学生は企画提案をする難しさを実感するとともに、その楽しさを学ぶことができました。